

## 30109土地整理土木工事業における死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2017	12	8~9	宅地整備工事の準備工として、現場内の高さ約3mにある木の枝の伐採作業中、伐採した枝が隣接地との境界を越えると思い、敷地内に落下させるためロープを投げて掛けようとしたが、上手く掛からず、やむを得ず途中まで登ろうとして枯れた枝をつかみ、枝が折れて背中から落下した。その際、落下した場所に木の切り株があり、骨盤と背骨を圧迫骨折した。	59	1	712	1 ~ 9
2	2017	12	9~10	当現場において、敷地内で敷鉄板をクローラダンプの荷台の上のせて運搬作業中、通路の凹凸で鉄板が跳ね上がり、バランスを失って、鉄板と荷台に挟まり両足を負傷した。	23	7	227	1 ~ 9
3	2017	12	9~10	寺の庭木剪定作業時に、切った葉を掃除しやすいように下にブルーシートを敷いて作業していた際、段差で足を挫いた。当初は捻挫だと思っていたが、痛みがひかないため病院を受診したところ、足の甲を骨折しており、松葉づえとなり、全治2カ月との診断を受けた。	57	19	417	1 ~ 9
4	2017	11	11~12	宅地造成工事でコンクリートブロック積の基礎部分をディスクサンダーで高さ調整のため切断中に当工具が横に跳ね、回転部が左足に接触し負傷した。	45	8	169	10 ~ 29
5	2017	11	15~16	U字溝共同事業排水路工事に敷く鉄板を運搬する際、積み卸しの作業（てこ）中に、誤って荷台から足を滑らせて落下し、左肘を骨折した。	35	1	221	10 ~ 29

6	2017	11	11~ 12	被災者を含む5名でUV管布設の為、道路の法面を深さ1.3m掘削し、シーティング（簡易土留め：高さ2.5m、幅1.2m、長さ3m、重さ1.6t）を設置する作業をしていた。被災者がシーティング上に乗っていた泥を落とすため下に置いているほうきを取ろうと右手をシーティングにかけ左手を伸ばしたところ、右手の指先が0.45tバックホウで設置中のシーティングと設置済みのシーティングに挟まれ被災した。バックホウからは死角になっていた。	39	6	142	1 ~ 9
7	2017	10	7~8	会社から現場へ行くために普通乗用車で信号青で直進していたところ、前方より女性（84才）運転の軽自動車が突然対向車線をはみ出しぶつかってきたため、ブレーキをかけ左側へ回避したが衝突してしまい負傷したもの。	72	17	231	1 ~ 9
8	2017	10	9~ 10	碎石場の資材置場を重機を使用し墾地転圧して高さ7.5mの高台で拡張作業をしていたところ、足元のコンクリートブロック（長さ1.5m、幅0.7m、高さ0.9m、重さ2?）が突然崩れ、土砂やブロックに巻き込まれた。	49	1	418	1 ~ 9
9	2017	10	9~ 10	碎石場の資材置場を重機を使用し墾地、転圧して高さ7.5mの高台で拡張作業をしていたところ、足元のコンクリートブロック（長さ1.5m、幅0.7m、高さ0.9m、重さ2?）が突然崩れ、土砂やブロックに巻き込まれた。	61	1	418	1 ~ 9
10	2017	10	14~ 15	トラックの荷台から荷下ろし作業中に、荷台の銅管が足の親指に落下した。	23	4	521	1 ~ 9
11	2017	10	13~ 14	市営団地の道路脇で、市営住宅の屋根瓦にかかった桜の木の枝を梯子に登って伐採中、バランスを崩して、チェーンソーで左腕の肘辺りを切り受傷した。	66	8	136	10 ~ 29
12	2017	10	10~ 11	単管足場解体中、3~4m高い所から手渡しで単管（4m）を下へ渡す時、単管の下で受け取る当事者の位置が足元の悪い所で、手渡し時お互いの合図をしなかったため、単管を掴み損ねて額に単	53	4	521	1 ~

				管が当たった。				9
13	2017	10	14～ 15	市道で街路樹の伐採作業の打ち合わせ中、エンジンをかけたままのユニック車が動き出し、停車させようと車に乗り込もうとし、電柱とドアの間に挟まれ左足に負傷。	33	7	212	10 ～ 29
14	2017	10	14～ 15	市道で街路樹の伐採作業の打ち合わせ中、エンジンをかけたままのユニック車が動き出し、停車させようと車に乗り込もうとし、電柱とユニック車の間に挟まれ負傷した。	35	7	212	10 ～ 29
15	2017	10	11～ 12	農地集積加速化基盤整備工事の作業中、不整地運搬車荷台の上にコンクリート側溝が積まれている状態で、荷台から重機（0.25 m <sup>2</sup> ）バックホーで側溝を下ろす作業中に、2人の作業員が荷台に乗り、当人は重機オペレーターに対して右側にいた。左側の作業員は合図に従い離れていたが、当人は合図が見えなかったため合図に気づかず、コンクリート側溝を押さえていた。そのまま側溝をスライドさせてしまい、指を不整地運搬車の後部ドアに挟まれた。	62	7	142	1 ～ 9
16	2017	10	11～ 12	一般住宅の庭でハシゴに登って庭木を剪定していた時にバランスを崩し、踵から転落（およそ1.5mの高さ）し負傷した。	57	1	371	1 ～ 9
17	2017	10	11～ 12	街路樹剪定作業において高所作業車のジャッキアップを行うため、アウトリガーを自動セットしたが、アウトリガーの地面接地を確認せずに次の作業に取り掛かろうとしたところ、下りてきたアウトリガーと地面の間に右足つま先を挟まれ、右足親指と人差し指先端部を骨折した。	64	7	146	10 ～ 29
18	2017	9	14～ 15	所有地整地土木工事現場にて、樹木をチェーンソーにて伐採中、木をよけようと傾け誤って左ひざ下を負傷した。	72	8	136	1 ～ 9
			10～	資材置場で資材の片付け作業中、4mの単管パイプ（2本）を担い				10

19	2017	9	11	で移動している際、足元にあったバタ角（90×90、2m）に気付かず、つまずき転倒した。	37	2	416	～ 29
20	2017	9	16～ 17	ブロック積基礎背面で、配布されたブロックを人力で向きを変え、整列させる為に持ち上げ、移動させようとしたところ、隣のブロックと左手中指が接触して、裂傷を負ったものである。	21	3	529	10 ～ 29
21	2017	9	16～ 17	建築外溝工事現場で、土の引き慣らし作業で、一輪車にて土を運搬中、境界外側の幅30cm、深さ50cmほどの側溝に、誤って右足を踏み外し、落としてしまい、右足首を骨折した。	51	3	418	1 ～ 9
22	2017	9	17～ 18	工事箇所に接した道路上において、舗装作業終了の小道具、転圧機械のトラックへの積込作業時に発生した。ローラーを所定の位置に格納後、車輪ロックが掛からないので、再度エンジンを始動して小さく前後進をした際、誤ってトラックから転落した。ローラーも転落して、ハンドル部分が胸部を圧迫した。	42	1	221	1 ～ 9
23	2017	9	10～ 11	作業現場で舗装された道路のアスファルトを破碎し撤去する作業をしていた、破碎したアスファルトを鉄の棒で動かしていたところ、誤って右足を挟み骨折した。	65	7	521	10 ～ 29
24	2017	9	13～ 14	造成地現場に市道より進入路の作業中、鉄板を敷く為に、バックホーにて釣り上げた際に少し揺れて、バックホーの右横に立っていた従業員の左足人差し指に怪我をさせてしまう。排土壁板に接触、被災者が危険過ぎる位置にいた、バックホーの運転者の慣れと安全確認の怠慢による。	45	7	142	10 ～ 29
25	2017	8	15～ 16	本社倉庫内にて、チェーンソーの始動確認をしていたとき、左足ふくらはぎを負傷した。	64	8	136	10 ～ 29
26	2017	8	10～ 11	カート脇の法面整形の作業中に、法面上部の作業を行うため（約2.1m）、法面をミニコンボでのぼって行き、頂上付近に差し掛かったときにキャタピラーが滑り、機体を修正しようとしたときにコンボが左方向に横滑りし、そのまま横転した。	68	1	142	10 ～ 29

27	2017	8	9~ 10	新築工事現場において、基礎工事の工程で、被災者が転圧機（タンピングランマー）で地盤の締固め作業中に、転圧機を作動させながら移動しようとしたところ、転圧盤の一部が基礎コンクリート（地中梁）面に当たり、一瞬転圧機が制御不能となり、被災者自身の左足の小指辺りを転圧機で挟んでしまい、骨折した。	56	7	149	1 ~ 9
28	2017	8	10~ 11	洗砂池掘削作業中、バックホウのバケット爪が緩んだ為、ピンの交換をしようとしたが、ピン穴が合わず爪先を石頭ハンマーで叩いた際、被災者の左目に金属片が刺さった。	18	6	521	50 ~ 99
29	2017	8	14~ 15	管排水路の転圧作業時、転圧機械（プレート）のエンジンの調子が悪くなり、プレート側部の保護カバーを取り外し修理を行っていた。プレート側部の保護カバーを外したまま、エンジンの試運転（再始動）した際、スターターロープがエンジン回転部に巻きこまれ、右手も巻きこまれ負傷した。	68	7	149	1 ~ 9
30	2017	8	17~ 18	場内の水路にて、散水車に給水作業をしていた。給水作業が終了し、給水車のタンク上の蓋を閉め、給水用ホースを持ってタラップを降車中に、バンパーに両足をかけたところ足を滑らせて80cm下の地面に着地し、両足かかとを受傷した。	55	1	221	1 ~ 9
31	2017	7	15~16	造成工事現場において、L型擁壁を4人で設置作業中、調整しつつ合わせていた時、薄手のゴム手袋を着用していたが、汗で滑ってL型擁壁の連結金具の穴に左手中指が入り込み、挟まって第一関節から切断された。	56	7	149	1 ~ 9
32	2017	7	15~16	造成工事作業中にコンクリート打設前の型枠を設置していた。各自水分補給を行い短時間の休憩を入れていたが、炎天下で現場に日陰がないため、熱中症になったと思われる。	45	11	715	1 ~ 9
33	2017	7	15~16	資材置場造成工事で水路のコンクリートを打設する作業中に、生コンクリート打設用のシュートを移動させていた時水路の上部から足を踏み外し水路の底に転落した。	50	1	417	1 ~ 9

34	2017	7	17~18	現場にて駐車場造成作業のために法面、擁壁の掘削作業をしていた。狭い場所での作業だったため、機械が利用できず、スコップを使っての人力作業を行っていたところ、腰部から臀部にかけて激しい痛みが生じた。この日は終日、人力作業での労働であった。	49	19	921	10 ~ 29
35	2017	7	11~12	工場内でパイプの溶接・切断作業中に、工場内を走行していたフォークリフトがパイプに接触したためパイプがずれてすねに当たり負傷したものである。	35	7	212	1 ~ 9
36	2017	7	14~15	工業団地配水管布設工事（その1）において水道工事中、給水ホースを持っていた時に、水圧が強くなりホースを持ったまま1m近く飛ばされてしまい、止めてあったダンプの角で強打した。	74	6	391	1 ~ 9
37	2017	7	9~10	職員駐車場の外柵工事現場において、コンクリート製の外柵（高さ約90cm）に外側の木製型枠を外し、駐車場側に入れようとしていたところ、バランスを崩して外柵の外側の擁壁下（高さ約3m）に落ちて、両足を骨折したものの。	27	1	416	1 ~ 9
38	2017	7	16~17	住職発注による墓地改良工事にとまなうスロープ工事において、墓地内の坂道（傾斜角度20°）で型枠組立作業中、木枠（コンパネ、1.8m×90cm、重量5kg）5~6枚程度を自動車からおろして運搬中（距離5~6m）に体が横むきの状態でもち上げる際に腰に負担がかかり腰を負傷した。	64	19	522	1 ~ 9
39	2017	7	10~11	場内整備工事現場において、4tダンプの運転席で積載していた残土を下ろすために操作したが、なかなか落ちず、急に滑り落ちた勢いで車体前方が持ち上がり、そのまま車体が地面にたたきつけられた。その衝撃により、腰椎を圧迫骨折した。積載荷重を越えてはいなかった。両足は動く。	66	6	221	10 ~ 29
				盛土の現場において、地盤改良のセメント攪拌作業のため、バックホウバケットでの攪拌を指示していたが、指示に従わず、				1



48	2017	5	14～ 15	バックホウ（0.15?）を使用し、駐車場の碎石敷き作業を行っていたとき、作業員はバックホウの後方で敷き均しを行っていたところ、オペレーターは作業員に気付かずにバックしたため、作業員の右足を轢いた。	22	7	141	1 ～ 9
49	2017	5	10～ 11	配水管布設工事において道路に水道管を布設するため、バックホーで幅60cm深さ120cmの溝を掘削した後、既設管（Φ200）と接続するための作業空間をスコップを用いて既設管の周りを手掘りしていた。最終的に舗装する際に必要な部分（両側50cmずつ、深さ20cm程度）も掘削してあったが、その下の部分の土砂が崩れて被災者の右膝部分に当たり、持っていたスコップと土砂に右膝が挟まれた。	42	5	711	1 ～ 9
50	2017	4	14～ 15	鋼材置き場ヤードで、H鋼材をクレーンにて吊り上げ作業中、H鋼材をクランプで玉掛して移動する際、片側のクランプが外れてH鋼材が落下し、左足を挟まれて骨折した。	23	4	212	30 ～ 49
51	2017	4	10～ 11	当社土場にて残土運搬作業中に、土をダンプから降ろそうとしていて、リヤゲートに石が引っかかった為、リヤゲートを取り外そうとした時に石が右足の足元に落ち骨折した。	21	4	221	10 ～ 29
52	2017	4	14～ 15	造成工事現場にて大型ブロック据付作業中に、据終えたブロックの微調整をバールを使ってしたところ、ブロックが予想外にバランスを崩して被災者側に倒れた。	62	4	371	1 ～ 9
53	2017	4	14～ 15	ガス管取出工事現場に於いてダンプカーの荷台から砂利を降ろした後、ダンプカーの荷台を下げている時、挟まった小石を取り除こうとして右手中指先を挟んだ。	44	7	221	1 ～ 9
54	2017	4	9～ 10	畑土留め工事現場にて、鉄パイプをハンマーで添え手して打ち込み作業中にハンマーが滑り、左手を直撃した。	34	6	379	10 ～ 29
				造成工事現場から次の現場へ2トンダンプで発電機を取りに行き、現場の置場でバックホー（移動式クレーン）でダンプの荷台				1

55	2017	3	9~10	に発電機を降ろし、発電機の玉掛けをはずす際に前かがみになったところ、オペレーターの視野に被災者が旋回した為、バックホーの法面バケットを右肩と左太腿に当てて被災した。	46	6	141	~ 9
56	2017	3	10~11	資材置場にて大型土のうをトラックの荷台より降ろす作業中、土のうを重機で吊り上げたものの土のう下部が破損しており、土砂がこぼれ落ちるので重機運転手が荷を横移動させた時、被災者が避け損ねて土のうと接触し、トラック荷台から転落して被災した。	64	1	221	~ 9
57	2017	3	9~10	造成工事の現場内、作業スペースで丸のこ（電動ノコギリ）で材木の切断作業をしていた。右膝を地面につき（立膝）で作業中、突然丸のこが自身の方向に跳ね返ってしまい、右足太ももに丸のこがあたりケガを負った。	71	8	131	10 ~ 29
58	2017	2	16~17	土壁の積み上げ作業中ワイヤーウォール天端部をカキ板で敷均し作業をしていたがバックホウ運転者が作業員の方向へ左旋回した時作業員の姿がないことに気付き、バックホウから降り下を見ると小段へ転落していた。転落事故が躓き転倒による転落か足の踏み外しによる転落、又はバックホウ作業による転落なのか現時点では断定できない。	32	1	711	—
59	2017	2	10~11	溜桧設置個所で排水用塩ビパイプ布設時に溜桧の内ヅラに合わせて、塩ビパイプをベビーサンダーで切断している時に、パイプを固定せずに作業した為、振動でパイプが跳ね上がり、その反動で右手がブレて誤って左手の甲、親指付近にベビーサンダーが接触して怪我をした。	54	8	153	1 ~ 9
60	2017	2	14~15	団地内の樹木の刈込作業中、チェーンソーが左手に当たり左手手のひらを負傷する。	60	8	169	1 ~ 9
				工事現場にて、2tトラックより、パワーショベルを下ろし作業中、後部のあおりを開き手で持たず、下ろした為、勢いよくあお				

61	2017	2	17~18	り板が下り、はね返り左足膝部分に当たり打撲負傷した。（負傷当日は、さほど痛くなかった為、湿布薬を貼り我慢して仕事をし過ぎていたが、約3ヶ月後、痛みが酷くなった為、受診した。）	42	6	221	—
62	2017	1	9~10	排水路改良工事現場で、コンクリート側溝（30×100cm、約95kg）を布設している時、側溝と側溝の間に左手薬指を挟んで負傷した。	53	7	212	1 ~ 9
63	2017	1	12~13	倉庫敷地内に保管されていたブルーシートが、風により敷地外の河川敷まで飛ばされてしまった。回収のため移動はしごを使って、河川敷まで降り、ブルーシートを回収後、手に持ったまま移動し、はしごを上っていた時にバランスを崩し、墜落した。	74	1	371	10 ~ 29
64	2017	1	16~17	自社置場において、置場整理のため定規（木材）の釘を抜いていた所、誤ってハンマーで右母指を叩き負傷した。	24	7	364	10 ~ 29
65	2017	1	8~9	作業員が作業場所を確認して物を取りに移動する時、斜面を横に歩き、コンクリート斜面の一部（左上右下）に水が凍っているところがあり、右足を滑らせ左足に体重がかかり、左側をひねり、左足脛骨を折ってしまった。	60	1	418	—
66	2017	1	11~12	法面補強工事作業中に、道路に停車した軽トラックに上着を脱ぎに行き、上着を片付けて掘削場所に戻る途中で、道路上で転倒し、右手首を骨折してしまった。	64	2	417	—
67	2017	1	8~9	当社資材置き場より積んだ残土の処理を行った帰り、道路の下り坂が凍結しており、当方の車（4tダンプ）減速したが、強風に煽られタイヤがスリップし、反対車線の先の土手に助手席側から衝突し、腰付近を強打した。	24	17	221	10 ~ 29
68	2017	1	8~9	現場資材置場で2tダンプ荷台へ工事に使用する暗渠管の積込中、管を固定するためのロープがうまくかからず、やり直しをしてい	59	1	221	1 ~



76	2016	10	9～ 10	田んぼに仮置き of 駐車を作っていた際、ならすためのユンボに乗ろうとした時に足を滑らして、ユンボの角に右ひざを打ち付けて、負傷した。	53	3	142	10 ～ 29
77	2016	10	15～ 16	作業機械の定期点検と整備を行っていた。バロネスのクラッチベルトを交換整備中に、ベルトとペーリー部に左手がはさまれ抜けなくなった。	30	7	121	30 ～ 49
78	2016	10	16～ 17	アパートの樹木剪定中に2mの脚立より転倒。	64	1	371	1 ～ 9
79	2016	9	10～ 11	2階建て民家の庭先で、解体されたものを片付けているとき、離れたところで、ユンボで柱の解体作業をしていた際に周辺の朽ちていた物も合わせて下へ落ちた。その際、3寸角の細い朽ちた柱が建物をはじいて作業員の背中に直撃した。	49	4	145	1 ～ 9
80	2016	9	13～ 14	新規現場の見積額精算のため現場付近の下見をしていた際、大型ダンプカーを停車して降りようとしたところ、足を滑らせ頭から道路に転倒した。	41	1	221	10 ～ 29
81	2016	9	11～ 12	資材置場において片付け作業中に、4トンダンプの荷台から降りて着地をしたところ、バランスを崩してしまい、その際に右足を捻り負傷した。	61	19	221	10 ～ 29
82	2016	9	9～ 10	木製パネルを電動ノコギリで切断中にノコギリが飛び跳ね、左手親指第二関節上部に接触し、裂傷した。	58	8	131	10 ～ 29
83	2016	9	17～ 18	現場から帰宅する為走行中、市道交差点にて右から走行してきた軽自動車が一時的停止を無視し、当車両の右側面に衝突し、当方車両が横転、運転手と同乗者の2名が負傷した。	67	17	221	10 ～ 29
84	2016	9	17～ 18	現場から帰宅する為走行中、市道交差点にて右から走行してきた軽自動車が一時的停止を無視し、当車両の右側面に衝突し、当方車	77	17	221	10 ～



92	2016	7	9～ 10	木工所内において手押がんま盤にて、板材を加工中、板材が暴れ、手で押さえきれず、がんまが手に接触して負傷した。	45	7	133	1 ～ 9
93	2016	7	10～ 11	雨水排水管を敷設するための掘削底盤で雨水配管を配管し、接続引きこみ中に、引きこみ用ワイヤーが切断した。切断したワイヤーにかけてあったレバブロックを操作していた被災者の頭部へ、レバブロックのフック及びシャックルが飛来し、ヘルメットの上からあたった。	52	4	361	1 ～ 9
94	2016	7	16～ 17	工事現場にて、重機を使って擁壁の掘削作業中、地盤が緩んでいた為、山が崩れて、受傷した。	20	5	711	10 ～ 29
95	2016	7	9～ 10	事業所資材置場にて、重機部品の取り替え作業をしている時、無理な体勢で持ち上げてしまったため腰を痛めた。	38	19	611	50 ～ 99
96	2016	7	15～ 16	堅排水小段柵の設置作業に従事しており、当日作業終了後、腰に違和感を覚えた。	23	19	529	10 ～ 29
97	2016	7	13～ 14	剪定した枝をトラックに積込作業中、クレーン巻き上げ時、ブームとフックの間に右手人差し指を挟み負傷した。	67	7	212	1 ～ 9
98	2016	6	17～ 18	保安用品を購入し、自家用車で現場に戻るため、県道を直進走行中、右折してきた相手車両と接触し、歩道上の植樹に衝突した後、車道上に横転した。	19	17	231	30 ～ 49
99	2016	6	16～ 17	駐車場整地工事現場の水分を含んだ残土の所で、水中ポンプ用の発電機に燃料を入れるため、10Lの携行缶を持って歩いている時に、その残土に足をとられ、左手をついた時に負傷した。	63	2	711	10 ～ 29
			17～	現場にて、太陽光発電システム施工工事のために、チェーンソー				10

100	2016	6	18	を使用し、伐採工事をしていたところ、倒木が済んだ木を重ねていたものが突然崩れ、頭部を強打し負傷した。	31	6	712	～
								29

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.html](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html)(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例 \(-2017年\)](#)に戻る。